

第 6 回 WG 議事要旨

第6回 建設施工におけるパワーアシストスーツ導入に関するWG 議事要旨

1. 日時

令和4年10月5日（水） 14:00 ～ 16:00

2. 場所

中央合同庁舎3号館3階 総合政策局局議室

3. 出席者（五十音順、敬称略）

<委員>

※一部委員および関係団体、オブザーバーはWEB形式にて参加
小林 泰三（立命館大）、建山和由（立命館大）、永谷圭司（東京大学）、
西尾真由子（筑波大学）、松尾亜紀子（慶応大）、油田信一（芝浦工大）

4. 議事

- （1）第5回WG 議事要旨について
- （2）本日の論点
- （3）令和3年度のPAS 検証結果について
 - 1）検証結果について
 - 2）現場検証 事例集（案）について
- （4）当面の活動計画
- （5）WG について
- （6）今後のWG 開催スケジュール

<主な意見>

●検証結果について

- 現場の人力作業がいかに苦渋作業であるかが理解されておりありがたい。将来、建設業界に携わる人達に、現場作業の将来像が示されていて良い。（玉石WGメンバー）
- PAS の能力を発揮させるためには、メーカーなどによる装着指導が必要である。（建山委員）
- 今回検証したPAS は縦方向の補助が多い。建設作業では体をねじる作業も多いため、そちらの補助についても今後検討が必要である。（玉石WGメンバー）
- 常に補助が効いている状態だと逆に作業の妨げになる可能性があるため、任意のタイミングでオンオフ機能や脱着がしやすくなる工夫が必要である。（玉石WGメンバー）

●現場検証 事例集（案）について

- 当初は、PAS の導入ガイドラインを作成したいと議論していた。検証では全ての工事、PAS を検証することができず、且つPAS の補助と適用工種が多種多様であったことから、事例集として今回検証したPAS の情報発信を行う。（油田座長）

○これだけの種類の PAS が比較検討されている資料は現時点で他に存在しない。(永谷委員)

○今回の事例集はこの事業に応募した PAS のみを対象としていることを明記した方が良い。

(油田座長)

○この実証結果がメーカへフィードバックされることによって、より適用できるものに改善されていくのはよいことである。施工工種毎の適用機種が絞り込んで選択できるようになるのが望ましい。

(建山委員)

○建設施工への PAS 導入検討を終えるものでなく、今回の検証を踏まえて PAS の改造、建設向け PAS が開発されればあらためて検証する計画。(事務局)

●WG について

○資材の持上げや運搬時に事故が発生することがある。資材に重心表示をするなど人作業のみではなく建設資材についても議論してはどうか。(玉石 WG メンバー)

—以 上—